

環境マネジメントシステム導入報告書

（ 宛 先 ） 京 都 府 知 事	2021年 7月 25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京田辺市大住立原1-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社明治 京都工場 工場長 中条 純平 0774-62-3161

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	牛乳・乳製品の製造
導入年月日	1998年 12月21日
認証番号	73575066
基本方針	<p>【環境ポリシー】 私たち明治グループは、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。そのために、地球環境と事業活動との調和を図り、環境に配慮した企業経営を推進していきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法令遵守 私たちは、環境にかかわる法令・条例、ステークホルダーとの協定、業界規範、自主基準を遵守します。</li> <li>2. 環境保全活動のスパイラルアップ 私たちは、環境保全活動の継続的な改善にサプライチェーン全体で取り組みます。</li> <li>3. 環境負荷低減 (1) 私たちは気候変動対策として、脱炭素社会の実現に向けて省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減に努めます。 (2) 私たちは、水の有効利用を推進し、水質を適切に管理することで、限りある水資源を大切にします。 (3) 私たちは、製品のライフサイクル全般およびあらゆる事業活動において、廃棄物の削減、再利用、再資源化を推進し、循環型社会の実現に貢献します。</li> <li>4. 生物多様性の保全 私たちは、あらゆる事業活動において、グローバルな視野を持って生態系に配慮し、生物多様性の保全に努めます。</li> <li>5. 適切な情報開示 私たちは、ステークホルダーに対し、環境情報の適時・適切な開示と対話を図ります。</li> </ol>
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>2020年度目標(殺菌乳量換算)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電力使用量19年度比2%削減</li> <li>②ガス使用量19年度比2%削減</li> <li>③水使用量19年度比2%削減</li> <li>④産業廃棄物19年度比2%削減</li> <li>⑤CO<sub>2</sub>排出量19年度比2%削減</li> </ol>
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産ライン安定稼働・稼働率向上によるエネルギー使用量削減</li> <li>・廃棄原料の削減による環境負荷低減</li> <li>・配送車の配送効率化によるCO<sub>2</sub>排出量削減</li> <li>・洗浄工程の見直しによる水の使用量削減</li> <li>・自然冷媒を使用した過冷却設備の運転効率化</li> <li>・アイスビルダーの蒸発温度適正化</li> </ul>
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産ライン安定稼働・稼働率向上によるエネルギー使用量削減 →継続取組中</li> <li>・廃棄原料の削減による環境負荷低減 →継続取組中</li> <li>・配送車の配送効率化によるCO<sub>2</sub>排出量削減 →継続運用中</li> <li>・洗浄工程の見直しによる水の使用量削減 →継続取組中</li> <li>・自然冷媒を使用した過冷却設備の運転効率化 →対策済</li> <li>・アイスビルダーの蒸発温度適正化 →継続取組中</li> </ul>
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>2020年度目標成果(殺菌乳量換算)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電力使用量19年度比2%削減→9.7%増加</li> <li>②ガス使用量19年度比2%削減→8.1%削減</li> <li>③水使用量19年度比2%削減→7.0%削減</li> <li>④産業廃棄物19年度比2%削減→4.3%削減</li> <li>⑤CO<sub>2</sub>排出量19年度比2%削減→12.6%増加</li> </ol> <p>コージェネレーション設備のトラブルにより2週間ほど停止していたため電力使用量が増加しガス使用量が削減されるという結果になった。また、新設備立ち上げ試運転等により電力使用量が増加した。</p>
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年、内部監査を実施している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>目標設定し削減に取り組み、製造ラインの新・増設、変更等がありながらも一部使用量については目標達成が出来た。</p> <p>【見直し内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産稼働率の向上(超安定稼働)を継続的に取り組む。</li> <li>・洗浄工程の更なる見直しによる水、洗剤の使用量削減を積極的に実施する。</li> <li>・アイスビルダーの効率運転化を実施する。</li> <li>・廃棄物の分別教育を実施する。</li> </ul>

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。